



ご案内

- ▶ トップページ
 - ▶ 教授挨拶
 - ▶ 教室紹介
 - ▶ 診療内容
 - ▶ 外来担当表
 - ▶ セカンドオピニオン
 - ▶ 研究課題
 - ▶ 臨床試験
 - ▶ 業績
 - ▶ 研修・入局案内
 - ▶ 関連病院紹介
 - ▶ スタッフ紹介
 - ▶ **教室日記**
- | |
|-------|
| 2022年 |
| 2021年 |
| 2020年 |
| 2019年 |
| 2018年 |
| 2017年 |
| 2016年 |
| 2015年 |
| 2014年 |
| 2013年 |
| 2012年 |
| 2011年 |
| 2010年 |
| 2009年 |
| 2008年 |
| 2007年 |
- ▶ オプアウト対象の臨床研究
 - ▶ 寄付講座
 - ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 平成29年度 病棟忘年会を行いました。

平成29年度 病棟忘年会を行いました。

投稿日：2017年12月27日(水)

平成29年 病棟忘年会を行いました

平成29年12月27日

1次会：杉やま 2次会：COA

忘年会の様子

1次会は腫瘍外科の医師、西8階病棟の看護師さん、外来スタッフの方々、薬剤部の先生方、治験センターの方々の総勢65名に参加いただきました。1年間を振り返りながら楽しい時間を過ごしました。



新人看護師さん、若手医師をはじめ、いろんな余興を披露してもらいました。大変盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。

吉田教授からのご挨拶



本年は何と言っても当科でJDDW2017を主幹しました1年でした。

各部門のスタッフの方々の協力のおかげで無事にやり遂げられたことのご感謝のお言葉をいただきました。また、来年の第51回制癌適応研究会、第39回免疫外科研究会、そして再来年の癌治療学会2019の主幹に向けて激励の言葉をいただきました。

患者さんに最善の医療を提供させていただくとともに、これから新たなエビデンスを発信していく岐阜大学腫瘍外科でありたいと、参加者一同、身の引き締まる思いでした。

各チームから1年を振り返って、来年の抱負



食道 田中先生



胃 山口先生



胃 棚橋先生



乳腺 二村先生



大腸 高橋先生



大腸 松橋先生

各チームのチーフから1年間を振り返ってきたこと、できなかったこと、そして来年の抱負をお話しいただきました。研究会・学会の主幹の成功、質の高い医療の追求、新たなエビデンスの創出、皆思いは同じでした。



2次会の様子

引き続きCOAに移動し、楽しい時間を過ごしました。



締め挨拶：高橋先生

幹事の今井健晴先生、村瀬先生ありがとうございました。

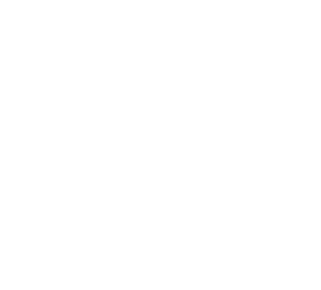
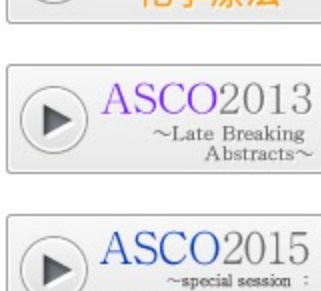
皆さん、今年一年本当にお疲れ様でした。

2018年も良い年となりますように、よろしくお祈りいたします。



ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜大学医学部第二外科同門会総会、吉田先生 教授就任10周年記念祝賀会が行われました。

岐阜大学医学部第二外科同門会総会、吉田先生 教授就任10周年記念祝賀会が行われました。

投稿日：2017年12月2日(土)

2018年12月2日に平成29年度岐阜大学第二外科同門会総会、また吉田先生教授就任10周年記念祝賀会が行われました。

平成29年度 岐阜大学第二外科 同門会総会

学会報告
 来年開催予定の第51回制癌対応研究会(2018/3/23@下呂温泉 水明館、会長：吉田和弘教授)と第39回癌免疫外科研究会(2018/5/17-18@岐阜郡ホテル、会長：吉田和弘教授)について開催案内が行われました。皆様ふるってご参加の程何卒よろしくお願致します。



制癌対応研究会 松橋延壽先生



癌免疫外科研究会 二村孝先生



JDDW2017 高橋孝夫先生

救急医学会地方会学術集会 白子隆志先生

バイオセラピー学会 杉山保幸先生

また、JDDW 2017 第15回消化器外科学会大会(2017/10/12-15、会長：吉田和弘教授)、第20回救急医学会中部地方会学術集会(2017/11/18、会長：白子隆志先生)、第30回バイオセラピー学会(2017/11/30-12/1、会長：杉山保幸先生)が第二外科同門の先生主催で今年開催され、それぞれ開催報告が行われました。

特別講演
 座長：佐治名譽教授
 特別講演：先知先哲に学ぶ技術の継承と発展



吉田教授からは、特別講演とともに同門会で毎年お話しただいて1年を振り返ってお話いただきました。以下概要となります。

- 今年のできたこと
 - 学会発表は昨年よりも全体の発表数は増加しました。228題(昨年：179)、司会 71(70)、WS33(31)
 - 出張日127(117)日、ASCO-GI2017など海外出張も多かった。
 - 学位授与2名(八幡和憲先生、杉山太郎先生)
 - 今年の入局者・入局希望者は12名います。
 - 今年も例年以上に多くのイベントがありました。(以下抜粋)
 - 市民公開講座(3月) 中井美穂さん
 - 山口和也先生寄附講座教授就任(4月)
 - 台湾外科学会での招聘講演(4月)、北京国際胃癌学会特別講演(4月)
 - 外科学会ランチョンセミナー
 - 米国DDWでのBM(シカゴ5月)、ASCOでのBM(シカゴ6月)
 - JDDW2017第15回日本消化器外科学会大会主催(10月博多)
 - 日本癌治療学会ではシンポジウム、ASCO、ESMO、FACO、UICC
 - 市民公開講座演者(10月)
 - START2 試験大成功(9月)、アニマルラボでの研修(10月)
 - 天津(中国)でのPrecision Medicine 招聘講演(11月)
 - インド癌学会、招聘講演、ビデオ、パネル(11月)

- 2018年以降の目標
 - 大学病院での診療体制の確立。進入局員の獲得。
 - 主催学会(制癌対応研究会、癌免疫研究会、第57回日本癌治療学会)の成功
 - 臨床試験結果(GC-07、CONVO-GC1、JCOG1507、EPOC2)の発表。
 - 国内外人事交流の発展
 - (シカゴ大学、ソウル大学、北京大学、がん研有明、広島大学病理学教室)
 - 関連施設の拡大(松波総合病院、村上記念病院)
 - 小学生からの癌教育を目指した市民公開講座の実現

毎年恒例のkey wordメッセージとして『画竜点睛』を掲げられました。故事より引用されました画竜点睛は最後の仕上げの重要さ、あるいはそれに値する物事を指します。

吉田教授はご自身の教授在任期間を3つの期間(前期・中期・後期)に分け、前期では臨床を中心に土台を築き、中期では学会活動を中心に教室の発展に尽力されてきたこととお話しされました。そして後期に当たるこれからは、さらなる飛躍のため仕上げを行っていき、後継者を育てていければという目標を掲げられました。

3. 特別講演：先知先哲に学ぶ技術の継承と発展

1. 岐阜大学の歩み

1875年(明治8年)に岐阜公立病院としてあゆみを始めた当院は1882年(明治15年)岐阜県医学校附属病院と名称を変更し1950年岐阜県立医科大学開設(昭和25年)、1964年(昭和39年)国立岐阜大学に移管し岐阜大学医学部となった。2004年に司可から柳戸地区に移転、開院し現在のかたちとなりました。

岐阜大学腫瘍外科教室は1956年(昭和31年)に京都大学出身の初代 竹友隆雄教授のもと開講し、1975年(昭和50年)より2代目 坂田一記教授、1980年には時代の変化とともに脳外科(山田弘教授)開講に伴う枝分かれを経て1988年(昭和63年)より岐阜大学出身である3代目 佐治重豊教授が就任されました。2003年(平成15年)には九州大学出身の4代目 安達洋祐教授が就任され、2007年(平成19年)より広島大学出身である吉田和弘教授が第5代目教授として着任されました。

昨年(2016年12月4日)、開講60周年記念式典を盛大裏に祝うことが出来ましたが、先づ先陣の尽力の賜物であったことは記憶に新しいところです。

2. 教室運営の基本方針

- 外科医としての技術・アートを磨くこと
- 教室の「和」を大切にすること
- 夢を持って臨床・研究に励むこと
- 評価基準を明らかにし、最も開かれた教室にすること(学会加入、論文、発表業績、資格取得、実績、評判)

3. 臨床に対する基本姿勢と実績

臨床試験・治療を推進できる施設こそその領域の専門施設である標準治療(最先端治療)を行うだけでなく標準治療を創る病院でありたい
 ≒170を越える臨床試験・多施設共同研究を経験
 当科P.I.での臨床試験

JACCRO GC-07 (START-2)、FACO CONVO-GC-1、JCOG1507 (BIRDIE Trial) (Amc獲得)、JFMC44、JFMC49 (EPOC2 study)

JFMC51、JBCRG-S01 (UMIN00028774)

4. 臨床につながる基礎研究

吉田教授ご自身が基礎研究をされていた時代から話題に挙がっていたこと、疑問であったことが近年徐々に明らかにされ再注目を浴びています。そして当教室・他教室との共同の研究からもその成果が確認されてきました。

- molecular carcinogenesis
- Expression of TMEM207 in CRC: Relation between TMEM207 and Intelectin-1(Kenichi Maeda)
- GNPMB participate in metastasis and interact with gastrointestinal cancer (Jesse Tajima)
- RNA-helicase DDX6 positively regulates HER2 and FGFR2 in GC cells (Toshihiro Tajirika)
- Clinicopathological examination about expression ARID1A in GC. (Takuji Sakuratani)
- Downregulation of ARID1A, a component of the SWI/SNF chromatin remodeling complex, in breast cancer (Chika Takao)
- The role of mieap in Breast cancer.(Gaowa S)
- cancer and metabolism
- MIR-133b inhibits growth of human GC by silencing pyruvate kinase muscle-splicer
- PTBP1 (Taro Sugiyama)
- chemotherapy resistance
- Decreased FANCI caused by 5FU contributes to increased sensitivity to oxaliplatin in GC cells(Ryutarou Mori)

5. 新たな治療の開発

SAMIT trial, JFMC44, START trial, CONVO-GC1 trial, BIRDIE trial, EPOC-2 trial (JFMC49), JFMC51

などの臨床試験から当教室より新たな標準治療が生み出される時代がすぐそこまで来ています。

岐阜大学医学部第二外科 吉田先生 教授就任10周年記念祝賀会

式次第

- 演奏 岐阜大学医学部 室内合奏団演奏
- 開式の辞 松橋延壽 先生
- 挨拶 同門会会長 堀部 廉 先生
- 挨拶 佐治重豊 名誉教授
- 乾杯 山本真史 先生
- JDDW報告ビデオ フェーズワン作成動画
- 10年の歩み 田中善宏 先生
- 演奏 岐阜大学医学部 箏曲部
- 同門会代表 鷲見靖彦 先生
- 記念品贈呈 堀部 廉 先生
- 挨拶 吉田和弘 教授

岐阜大学医学部 室内合奏団の演奏でレセプションがスタート



各先生方から吉田教授就任10周年の祝辞を頂きました。



同門会会長 堀部廉先生 佐治重豊 名誉教授 乾杯の挨拶 山本真史

来年度入局予定の11名の先生方も参加され、一言挨拶を頂きました。

日と弘先生教授就任10周年記念祝賀



岐阜大学医学部 箏曲部 より演奏



吉田和弘教授より挨拶



大変お忙しい中、多くの先生方にご参加頂き誠にありがとうございました。

今回の同門会は、吉田教授就任10周年記念祝賀会という形で開講されました。多くの先生方にご参加頂き、皆さんと共に盛年にお祝いすることができました。今後ますます吉田教授のご活躍を心よりお祈するとともに、第二外科が更に飛躍できるよう日々研鑽を積んでいこうと思います。

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > **がん治療学術講演会 in Gifu ーオブジーボ 胃癌承認記念講演会ー**

がん治療学術講演会 in Gifu ーオブジーボ 胃癌承認記念講演会ー

投稿日：2017年11月15日 (水)

2017年11月15日に岐阜県総合医療センター 呼吸器内科 都竹晃文先生、当院薬剤主任 飯原大稔先生、そして熊本大学消化器外科 馬場秀夫教授をお招きし、がん治療学術講演会 in Gifu ーオブジーボ 胃癌承認記念講演会ー が行われました。

がん治療学術講演会 in Gifu ーオブジーボ 胃癌承認記念講演会ー

記

日時：平成29年11月15日(水) 19:00～20:45
 場所：岐阜都ホテル「ボールルーム」
 〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2
 TEL 058-295-3100

19:00～19:45
Session. I 教育講演
 【司会】岐阜大学大学院 消化器病態学 教授 清水 雅仁 先生

①『ニボルマブ使用経験からの学び』
 【演者】岐阜県総合医療センター 呼吸器内科 医長 都竹 晃文 先生

②『ニボルマブ投与時に見ておくべき検査項目』
 【演者】岐阜大学医学部附属病院 薬剤主任 飯原 大稔 先生

19:45～20:45
Session. II 特別講演
 【司会】岐阜大学大学院 腫瘍制御学講座腫瘍外科学分野 教授 吉田 和弘 先生

『胃癌治療における免疫療法の効果と特性』
 【演者】熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科 教授 馬場 秀夫 先生

*本講演会はWebexシステムにて、ライブ配信をさせていただきます。
 *講演会終了後、意見交換会をご用意させて頂いております。
 主催：小野薬品工業株式会社/プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

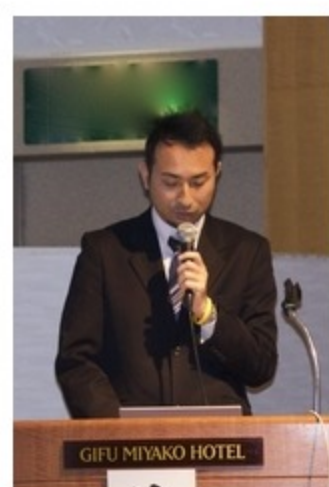
Session. I 教育講演では、岐阜大学大学院 消化器病態学 清水雅仁教授が司会をされ、①『ニボルマブ使用経験からの学び』について岐阜県総合医療センター呼吸器内科医長の都竹晃文先生に御講演いただき、②『ニボルマブ投与時に見ておくべき検査項目』について岐阜大学医学部附属病院 薬剤主任 飯原大稔先生にご講演いただきました。都竹先生からは、ニボルマブ投与の先輩にあたる肺がん領域における使用経験を、症例を提示していただきながら、治療効果や副作用マネージメントについて丁寧に教えていただきました。飯原先生からは、現在の本邦でのニボルマブの使用状況から、当院でのirAEをはじめとした副作用の発現時期やその特徴について講演いただきました。



座長 清水雅仁教授



演者 都竹晃文先生



演者 飯原大稔先生

Session II. 特別講演では、岐阜大学大学院腫瘍制御学講座腫瘍外科学分野 吉田和弘教授が司会をされ、『胃癌治療における免疫療法の効果と特性』というテーマで、熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科 馬場秀夫教授に講演をしていただきました。

1.「手術療法に影響を及ぼす因子」では、様々な胃癌の臨床試験から得られたエビデンスをもとに、予後向上のための手術に関する基本的な考え方を提示していただきました。開腹・腹腔鏡に関わらず、術後合併症を起こさない手術の重要性を感じました。2.「免疫療法の効果と特性」では、がん免疫の機序から免疫チェックポイント阻害剤の効果予測、胃癌におけるPD-L1の発現まで大変わかりやすく教えていただきました。また、固形癌におけるPD-L1の発現と腫瘍浸潤リンパ球(TIL)やTAMなど腫瘍微小環境との関連も大変興味深く、熊本大学のCAFsと高発現遺伝子の研究成果は素晴らしい、当科の大学院生はじめ一同、大変刺激をいただきました。最後に、3.「今後の医療」では、TED「エイブラハム・バルキーズ：医師の手が持つ力」をご紹介いただき、将来AIが活用されると思われる臨床現場においても、忘れてはいけない「儀式」があることを再認識させられました。馬場教授の医師としてのフィロソフィーであろうと、大変感銘を受けました。



特別講演 座長 吉田和弘教授



特別講演 演者 馬場秀夫教授



謝辞

日本消化器癌発生学会開催の直前にも関わらず、消化器癌における臨床・研究をリードされておられる馬場教授に岐阜の地で講演して頂き、大変素晴らしい会となりました。遠路はるばる岐阜に来て頂き、本当にありがとうございました。医局一同感謝申し上げます。

文責 今井 健晴



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属 病棟
- 岐阜大学医学部附属 病棟がんセンター
- 岐阜大学医学部附属 病棟外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第5回次世代岐阜内視鏡外科Labセミナー

第5回次世代岐阜内視鏡外科Labセミナー

投稿日：2017年10月29日 (日)

今回で5回目となりました毎年恒例の次世代岐阜内視鏡外科Labセミナーをジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の主催により、2018年10月28、29日と川崎で行いました。

コース責任者 岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授

コースコーディネーター 岐阜大学腫瘍外科 棚橋利行

今回は岐阜大学腫瘍外科同門の若手医師ならびに研修医の先生が計11名参加してくれました。

今回テーマは腹腔鏡下幽門側胃切除術(LDG)とし、まず初日は座学として、内視鏡外科技術認定医である岐阜市民病院の奥村直樹先生から実際に行っているLDGのビデオを見せていただき、手技の注意点やコツなどを発表してもらいました。またビデオクリニックは村上記念病院の太和田昌宏先生とがん研有明病院の安福至先生が発表してくれました。多くの先生と現在実際に悩んでいるポイントや手術手技やこだわりなど活発なディスカッションができました。



司会の山口先生



講義 奥村先生



ビデオクリニック乾杯の挨拶 長尾先生



ビデオクリニック演者 和田先生



ビデオクリニック演者 安福先生



教授よりコメント

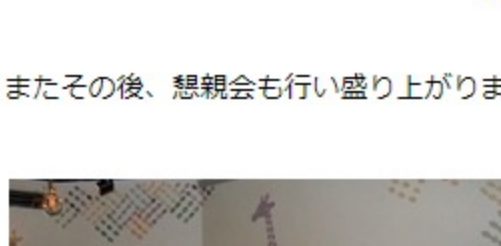


ビデオクリニック 風景



集合写真

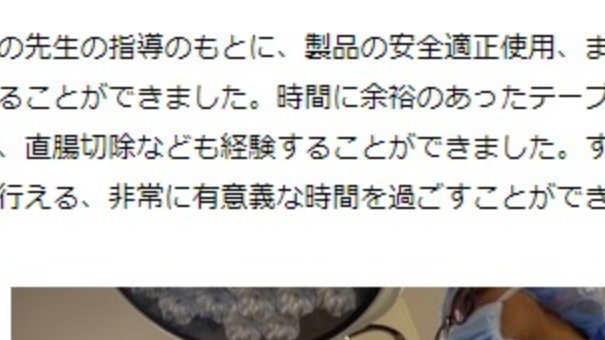
またその後、懇親会も行い盛り上がりました。



2日目はブタを用いた内視鏡セミナーを行いました (東京サイエンスセンター)。



技術認定医の講師の先生の指導のもとに、製品の安全適正使用、またLDGデルタ吻合まで全員が経験することができました。時間に余裕のあったテーブルでは胃全摘術食道空腸再建や胆摘、直腸切除なども経験することができました。すべての参加者が術者もしくは助手を行える、非常に有意義な時間を過ごすことができました。



非常に貴重な体験を経験することができ、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の関係者方々ならびに吉田教授をはじめ同門の先生方に感謝いたします。

文責 棚橋利行

◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

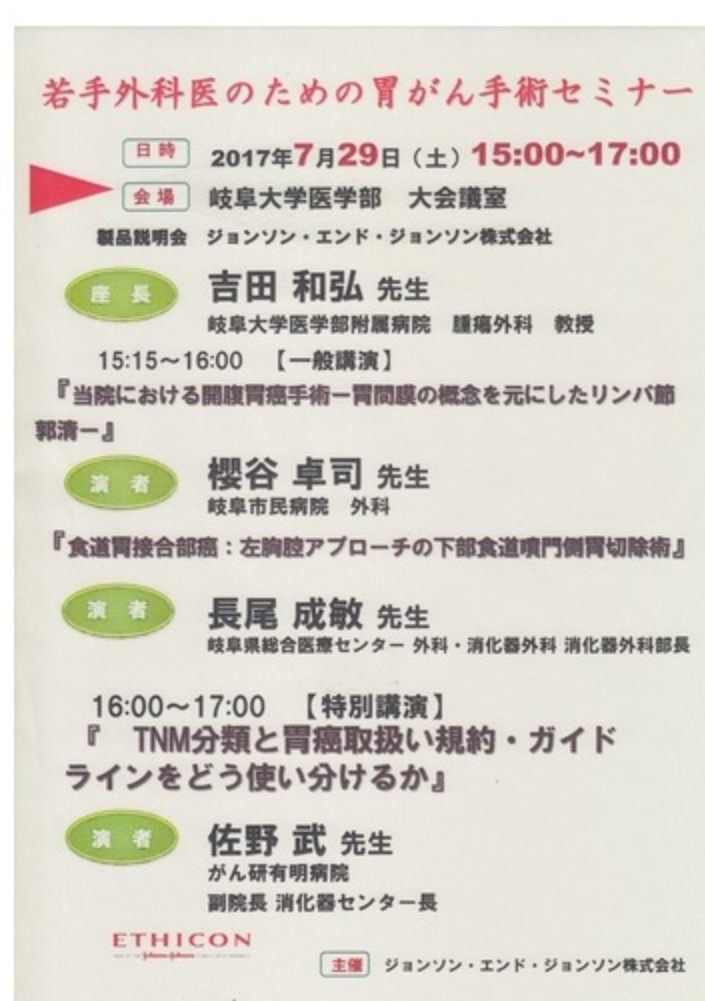
◎ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 若手外科医のための胃がん手術セミナー

若手外科医のための胃がん手術セミナー

投稿日：2017年7月29日（土）

2017年7月29日に、がん研有明病院 消化器センター長 佐野 武先生をお招きし、若手外科医のための胃がん手術セミナーが行われました。



岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野教授、吉田和弘先生が座長をされ、一般講演として、岐阜市民病院外科の櫻谷卓司先生と岐阜県総合医療センター消化器外科部長の長尾成敏先生にご講演いただきました。櫻谷先生からは「当院における開腹胃癌手術-胃間膜の概念を元にしたリンパ節郭清-」と題し、間膜の発生解剖学的観点から意識したリンパ節郭清を、手術ビデオを流しながら講演してもらいました。また長尾先生からは「食道胃接合部癌：左胸腔アプローチの下部食道噴門側胃切除術」と題し、食道胃接合部癌に対しこれまで経験してこられたその他のアプローチも含めてそのメリットデメリットを教えてくださいました。



座長 吉田 和弘 教授



櫻谷 卓司 先生



長尾 成敏 先生

特別講演として、佐野 武先生より「TNM分類と胃癌取扱規約・ガイドラインをどう使い分けるか」というテーマでご講演いただきました。

TNM分類の歴史の変遷と、日本における胃癌取扱規約への影響などご自身が取扱規約の編集に関われた経験も交えて非常に分かりやすく教えていただきました。特に胃癌取扱規約は胃癌診断に、ガイドラインは治療に、とうまく使い分けられることを強調され、術前診断から手術、術後治療を行う上で実臨床に携わる先生方にはとても勉強になったかと思えます。また、冒頭でお話された日米における胃癌ステージ別の予後の違いを病理標本の扱いや統計的なトリックとして指摘された点はとても興味深い内容でした。

フロアからも活発に質問があり、出席された先生方には非常に実りのある会であったかと思えます。



佐野 武 先生



謝辞

胃癌における我が国そして世界のトップリーダーであられる佐野武先生に岐阜に来て頂き、岐阜の若手外科医を中心に胃癌レクチャーをして頂いたことは今後の若手医師の医師人生に大きな影響を及ぼしてくれる事と思えます。また益々佐野武先生が世界の胃癌治療をリードして頂けると確信致しました。お宴い中岐阜に来て頂き、本当にありがとうございました。岐阜の若手外科医一同感謝申し上げます。

文責：田島ジェシー 雄 松橋延壽



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [オリンパスラボセミナー](#)

オリンパスラボセミナー

投稿日：2017年7月23日（日）

2017年7月23日(日)に、棚橋引率の元、若手ドクターとともに、八王子市にある株式会社オリンパスのラボで、豚を使用した内視鏡手術のトレーニングをおこなってまいりました。

参加者は以下のドクターでした。

- 今井寿先生
- 棚橋利行
- 今井健晴先生
- 徳丸剛久先生
- 鷹尾千佳先生
- 多和田翔先生
- 村瀬佑介先生
- 坂野慎哉先生

ラボ開始直前に今井寿先生が緊急オペで急遽岐阜に帰らなければいけないということがありましたが、若手6人で3匹の豚を使用して、棚橋が各テーブルをまわり、技術指導をしてまいりました。術者助手を交代で行い、すべてのテーブルで腹腔鏡下幽門側胃切除術、デルタ吻合を完遂させ、直腸切除も行えたテーブルもありました。また、3Dスコープやサンダービートを使用させていただきました。

普段はなかなか出来ない手術を経験でき、みな非常に満足しました。技術的にも丁寧にかつ上手にやっておりました。

非常に貴重な体験を経験することができ、株式会社オリンパスの関係者の方々ならびに吉田教授はじめ医局の先生方に感謝いたします。

文責 棚橋利行



[▲ページの先頭へ戻る](#)



- ご案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記**
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > KGPS第7回京都岐阜小児外科カンファレンス

KGPS第7回京都岐阜小児外科カンファレンス

投稿日：2017年7月 7日（金）

2017年7月7日に、ぎふ長良川温泉 ホテルパークにて、岐阜の若手外科医を育てる会との共催で、第7回京都岐阜小児外科カンファレンス（KGPS）を開催しました。

今回も京都府立医科大学、大阪市立総合医療センター、大阪府立小児医療センター、あいち小児医療センター、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、長良医療センター、岐阜大学などの多くの施設から、約50名に及ぶ多くの先生方に参加いただきました。

KGPS 第7回京都岐阜小児外科カンファレンス

日時：2017年7月7日（金） 18:30～
場所：ぎふ長良川温泉 ホテルパーク
岐阜市湊町397-2 TEL：058-265-5211

◆ 懇話会 岐阜大学腫瘍外科 吉田 和弘 教授	◆ 一般演題 18:35～19:25 (発表9分 討論9分) 座長：京都府立医科大学 文野 誠久 先生 長良医療センター 安田 邦彦 先生
① 先天性胆道で発症した軽微性黄疸リンパ管腫の1例 岐阜大学 小児科 安江 志保 先生	② 胃静脈と連続した小児内ヘルニアの1例 京都府立医科大学 小児外科 三村 和哉 先生
③ 巨大膵臓腫瘍の1例 岐阜県総合医療センター 小児外科 加藤 禎洋 先生	④ 乳児巨大膵臓腫瘍の1例：外科治療の症例点 京都府立医科大学 小児外科 文野 誠久 先生
⑤ ストリーミング配信に際してのベストプラクティスに備わった乳児の1例 長良医療センター 小児外科 岡村 寿 先生	◆ 特別講演 19:30～20:00 座長：岐阜大学 腫瘍外科 吉田 和弘 教授 【小児外科専門医制度、およびそのサブスペシャリティー領域としての小児外科専門医制度の在り方】 京都府立医科大学小児外科 田尻 進郎 教授
◆ 懇話会 京都府立医科大学小児外科 田尻 進郎 教授	

共催 岐阜の若手外科医を育てる会

吉田和弘教授の開会挨拶により始まり、一般演題は京都府立医科大学の古川泰三先生、長良医療センターの安田邦彦先生の司会のもと、

- ① 岐阜大学小児科 安江志保先生
- ② 京都府立医科大学小児外科 三村和哉先生
- ③ 岐阜県総合医療センター小児外科 加藤禎洋先生
- ④ 京都府立医科大学小児科 文野誠久先生
- ⑤ 長良医療センター 岡村寿先生

に興味深い演題を発表いただきました。



開会挨拶 吉田和弘教授



一般演題座長 古川泰三先生、安田邦彦先生



安江 志保 先生



三村 和哉 先生



加藤 禎洋 先生



文野 誠久 先生



岡村 寿先生

特別講演は、吉田和弘教授の司会のもと、『新外科専門医制度、およびそのサブスペシャリティー領域としての小児外科専門医制度の在り方』と題し、今後はじまる新外科専門医制度に關しての抑えておくべきポイントなど、わかりやすく口演いただきました。



座長 吉田和弘 教授



演者 田尻 進郎 教授



カンファレンスの様子



記念撮影

カンファレンス終了後は、短い時間ではありましたが、ホテルパークの目の前で、現在開催中の長良川輪闘いを鑑賞し、その後、懇親会を開催しました。



深尾 敏幸 教授



水津 博 先生



園枝 克行 先生



米田 光宏 先生



鷹尾 明 先生

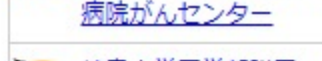
短い時間ではありましたが、非常に有意義な時間を過ごすことができました。次回は2018年7月に京都で開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。





ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 2017年度 医局旅行

2017年度 医局旅行

投稿日：2017年6月12日（月）

2017年6月10日、11日に医局旅行で奥飛騨ガーデンホテル焼岳まで行ってきました。Han-kwang Yang先生にもご参加いただき、午前中は高山観光を楽しみました。



ホテル到着後はYang先生よりSeoul national university hospitalのチーム医療についてミニレクチャーをしていただきました。世界トップレベルのチームについてお話しいただき、医局員だけでなく病棟看護師にとっても大変刺激となる講義でした。



ミニレクチャーから高山赤十字病院の井川先生と原先生、研修医2名・学生1名も合流し、質疑応答も活発に行われました。

ミニレクチャーの後はHan-kwang Yang先生、吉田先生を囲み高山の美味しい料理とお酒をいただきました。

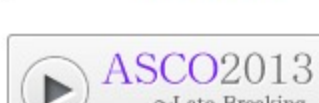


世界で活躍されるYang先生のパワーを感じることができ、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 山口和也先生教授就任記念祝賀会

山口和也先生教授就任記念祝賀会

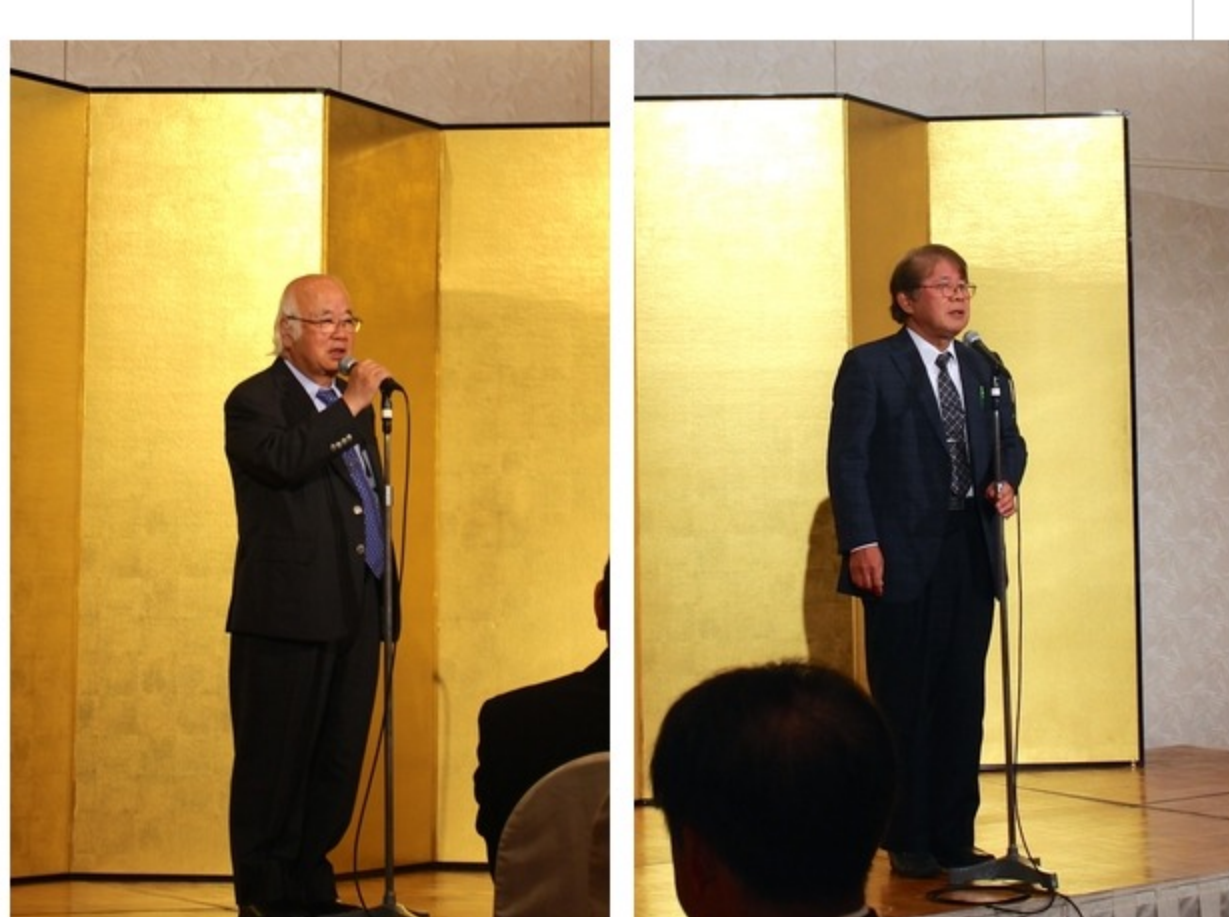
投稿日：2017年5月20日（土）

山口和也先生が低侵襲・がん集学的治療学講座の教授に就任され、その祝賀会が行われました。

日時：2017年5月20日（土）17:00～
場所：岐阜都ホテル



吉田教授より開会の挨拶



佐治名誉教授、同門会長堀部先生より祝辞



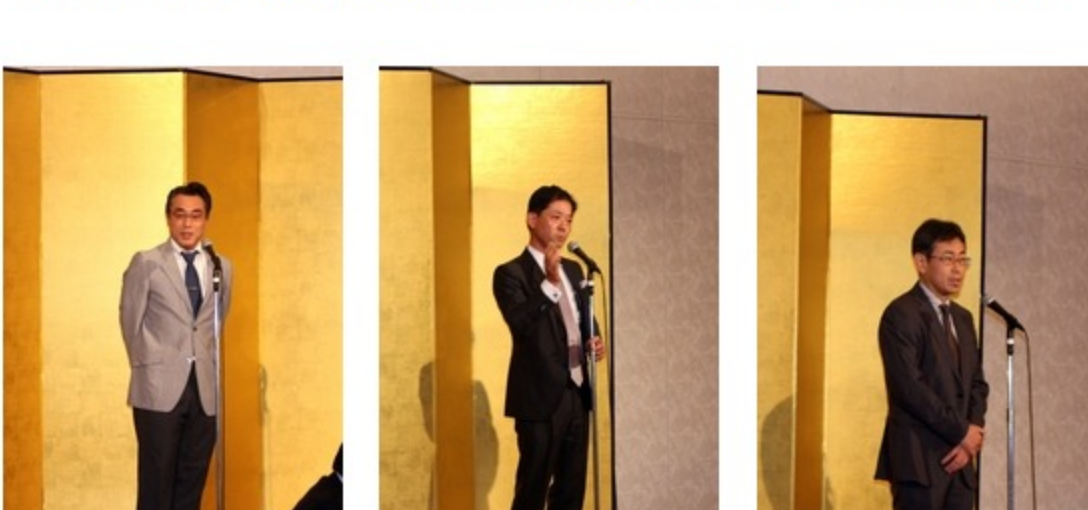
種村先生より乾杯の挨拶



東先生、國枝先生、水津先生より祝辞



棚橋先生、松橋先生より山口先生の写真を使用したプレゼンテーションがされました



佐野先生、山田先生、奥村先生より祝辞



井川先生より花束が贈られました



同門会長堀部先生より記念品目録が贈られました



山口先生からの挨拶



山口先生からの挨拶

たいへん良い会となりました。

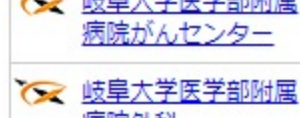
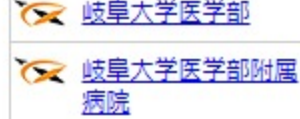
平成14年4月に新潟燕労災病院より岐阜大学医学部附属病院に帰属されて以来、腫瘍外科の上部消化管チームを引っ張って頂きました。腹腔鏡手術の黎明期から現在に至るまで岐阜の腹腔鏡手術をリードして頂き、多くの内視鏡外科技術認定医を現在輩出していることは山口和也先生をリードして頂き、今後も岐阜の腹腔鏡手術および上部消化管を吉田和弘教授と共にリードして頂けるものと思います。山口和也先生 低侵襲・がん集学的治療学講座教授就任おめでとうございました。

文責 松橋延壽



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



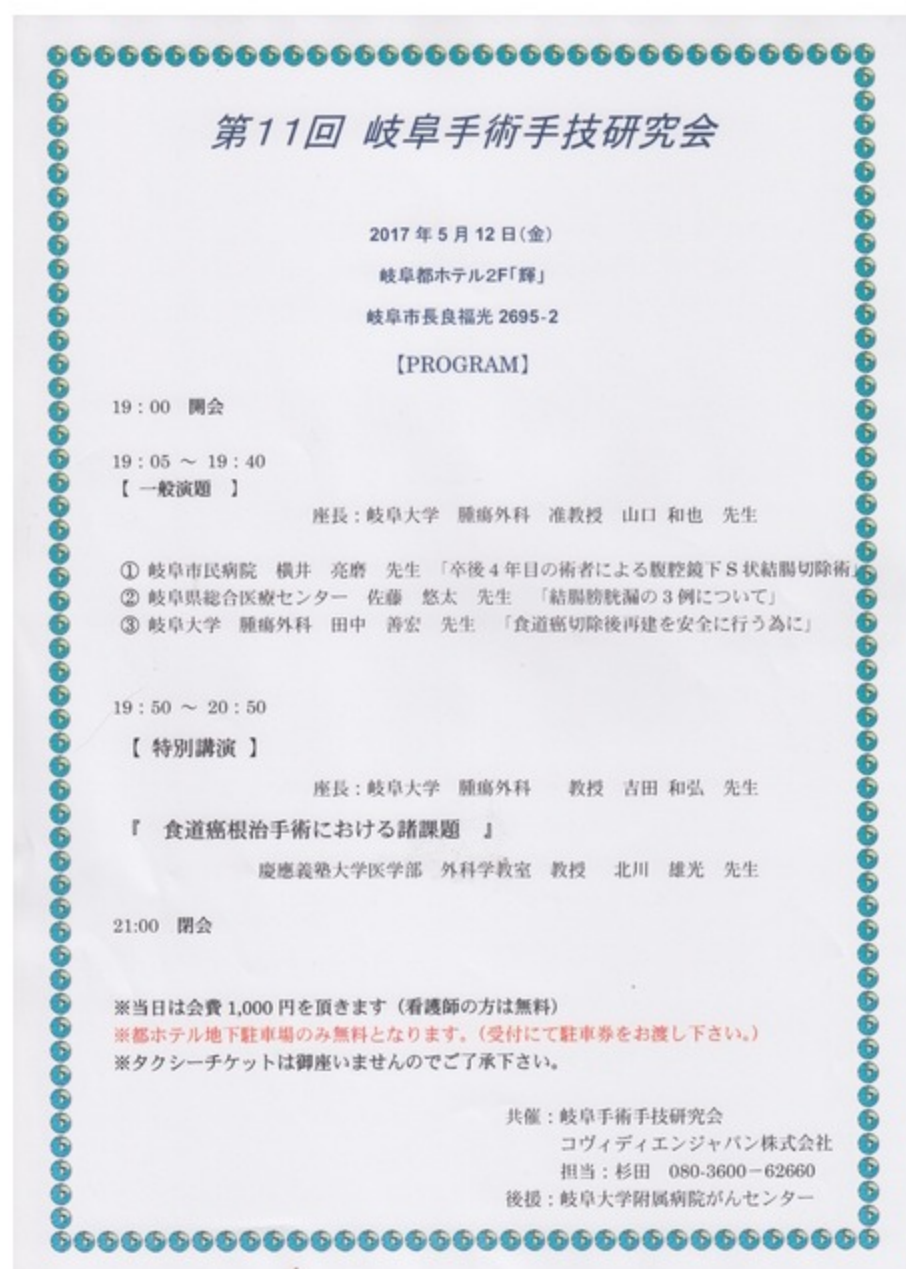
教室日記

トップページ > 教室日記 > 第11回 岐阜手術手技研究会

第11回 岐阜手術手技研究会

投稿日：2017年5月13日（土）

2017年5月12日に慶應義塾大学医学部 外科学教室 教授 北川 雄光先生をお招きし、第11回岐阜手術手技研究会が行われました。



始めに岐阜大学 腫瘍外科 准教授、山口和也先生が司会進行をされ、一般演題として岐阜市民病院から横井 亮磨先生、岐阜県総合医療センターから佐藤 悠太先生、そして岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科から田中 善宏先生よりご発表いただきました。若手の手術経験をもとに、また食道癌手術の再建の工夫を中心にフロアから活発に意見が交わされました。



一般演題 座長 山口 和也 先生



横井 亮磨 先生



佐藤 悠太 先生



田中 善宏 先生

特別講演では岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野教授、吉田和弘先生が座長をされ、「食道癌根治手術における諸課題」というテーマで慶應義塾大学医学部 外科学教室の北川 雄光教授に講演をして頂きました。



特別講演 座長 吉田 和宏 教授



北川 雄光 教授

講演の中で、北川教授が執刀された動画をもとに、特に使用されたデバイスや体位の重要性、こだわりをよく知ることができ、非常に実践的な講演であり、また非常にきれいなビデオを拝見し、普段食道癌手術に触れる機会の少ない若手外科医にもよく理解できたのではないかと思います。フロアからは質疑応答も活発に行われ非常に有意義な会となりました。



懇親会では、北川先生の国内のみならず、海外でもエネルギーにご活躍され、まさに日本の外科医療を牽引しておられる風格を感じるとともに、とてもユーモアのある先生のお人柄に触れることができました。

参加者：北川雄光教授、吉田和弘教授、二村学先生、山口和也先生、高橋孝夫先生、松橋延壽先生、田中善宏先生、棚橋利行先生、今井健晴先生、末次智成先生、田島ジェシー雄



文責：田島ジェシー雄



ご案内

[トップページ](#)

[教授挨拶](#)

[教室紹介](#)

[診療内容](#)

[外来担当表](#)

[セカンドオピニオン](#)

[研究課題](#)

[臨床試験](#)

[業績](#)

[研修・入局案内](#)

[関連病院紹介](#)

[スタッフ紹介](#)

[教室日記](#)

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

[オプトアウト対象の臨床研究](#)

[寄付講座](#)

[同門会](#)



同門会発行
辛夷

[胃がんとは](#)
MOVIE

[外来化学療法](#)
って何？

[術後GISTの](#)
化学療法

[ASCO2013](#)
~Late Breaking Abstracts~

[ASCO2015](#)
~special session :
Global Oncology Symposium~

[岐阜大学医学部](#)

[岐阜大学医学部附属病院](#)

[岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)

[岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > 平成29年度 病棟歓迎会を行いました。

平成29年度 病棟歓迎会を行いました。

投稿日：2017年4月12日（水）

日時：平成29年4月12日 水曜日

場所：おく田

平成29年4月から新しく岐阜大学医学部附属病院、腫瘍外科・西8階にこられた先生、看護師さん、薬剤師さんの歓迎会を行いました。

9名の医師と5名の看護師さんがこられました。

【新たに迎えられた先生】 6名

北澤舞先生(平成27年卒 当院研修医より)

坂野慎哉先生(平成25年卒 高山赤十字病院より)

村瀬佑介先生(平成25年卒 岐阜県総合医療センターより)

多和田翔先生(平成24年卒 岐阜市民病院より)

岩田至紀先生(平成21年卒、大学院生 下呂市民金山病院より)

今井健晴(平成19年卒 広島大学 大学院より)

【当研究室から臨床に戻られた先生】 3名

鷹尾千佳先生(平成21年卒)

田島ジェシー雄先生(平成19年卒)

前田健一先生(平成16年卒)の3名



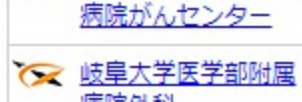
医師、8西の看護師さん、新しく8西に来られた梶川薬剤師を始め、たくさんの方々が参加し、もつ鍋を囲みながら、親交を深めることができました。

今年度もよろしく願い致します。

[▲ページの先頭へ戻る](#)

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 西8階 送別会を行いました。

西8階 送別会を行いました。

投稿日：2017年3月21日（火）

日時：平成29年3月21日
場所：十八楼

平成28年度 西8階送別会を行いました。

異動・退職される方々
医師：長田先生（岐阜市民病院へ）、杉山先生（金山病院へ）、櫻谷先生（岐阜市民病院へ）、佐野先生（揖斐厚生病院へ）、浅井先生（広島大学大学院へ）、高野先生（岐阜県総合医療センターへ）、松本先生（松波総合病院へ）
看護師：奥堂さん、安井さん、大森さん、小森さん



吉田教授より開会のご挨拶をいただき、乾杯していただきました。

送別される方々：
吉田教授と深尾師長より異動される方一人一人に贈る言葉をいただきました。送別者の方々からも腫瘍外科・西8階での思い出や今後の抱負などをお話していただきました。（長田先生は学会のため出席できず、代わりに頂いたお手紙を今井先生より代読していただきました。）



今井先生(長田先生のお手紙代読)



杉山先生



櫻谷先生



佐野先生



浅井先生



高野先生



松本先生



奥堂さん



安井さん



大森さん



小森さん



花束贈呈

皆様お疲れ様でした。新天地でのご活躍をお祈りしています。





ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

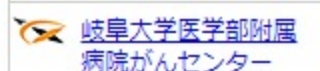
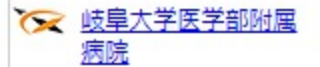
2008年

2007年

オプトアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第9回 岐阜 DIF 研究会

第9回 岐阜 DIF 研究会

投稿日：2017年2月24日（金）

2017年2月24日に大阪府立成人病センター 井岡達也先生、がん研有明病院 佐野 武先生をお招きし、第9回岐阜DIF研究会が行われました。

Lecture I では岐阜大学 消化器病態学教授、清水雅仁教授が司会をされ、「臍がん化学療法～何を根拠にレジメンを選択するか？～」と題し大阪府立成人病センター、臍がんセンター内科系部門長の井岡達也先生よりご講演いただきました。

Lecture II では岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野教授、吉田和弘先生が座長をされ、「我が国の胃癌補助療法の流れ-術後から術前へ-」というテーマでがん研有明病院 副院長 消化器外科部長の佐野武先生に講演をして頂きました。術後補助化学療法、術前化学療法についてJCOG試験を中心に分かりやすく教えていただきました。本邦独自の胃癌のエビデンスの発信のため、長年先頭にたつてこられた佐野先生の熱意を強く感じ、新しいエビデンス発信の重要性を存分に感じる講演でした。一方、特に術前化学療法については術前診断の精度の問題やその功罪にも触れられ、エビデンス確立の難しさや苦労を垣間見ることができました。また、どちらの講演も実際の症例や想定される疑問などを多く提示され、臨床に携わる先生がたにもとても実践的な講演ではなかったかと思います。



座長 吉田和弘 教授



佐野 武 先生



大変多くの先生が参加され、充実した講演会となりました。

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

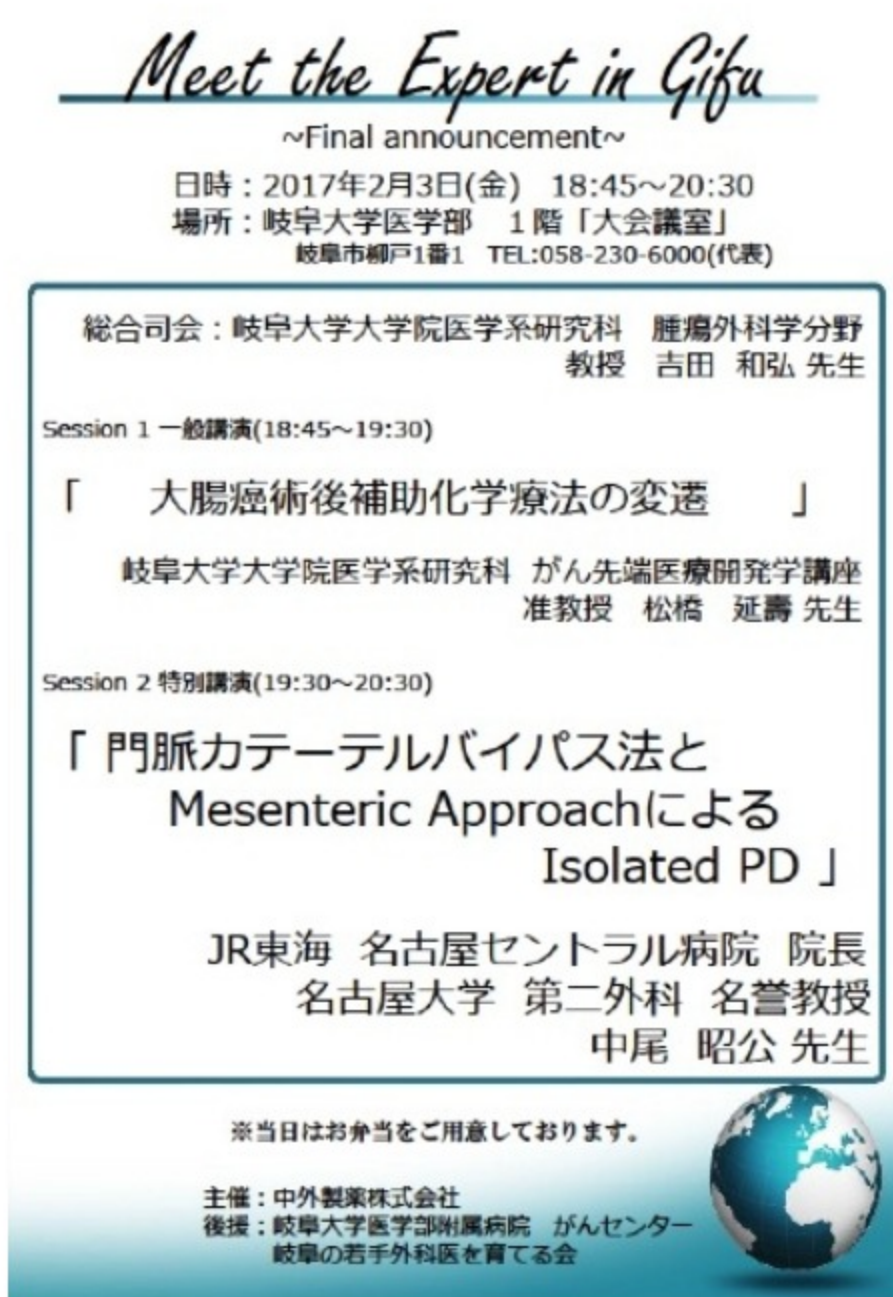
▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > Meet the Expert in Gifu

Meet the Expert in Gifu

投稿日：2017年2月 3日（金）

2017年2月3日(金) 岐阜大学医学部大会議室でMeet the Expert in GifuがJR東海名古屋セントラル病院院長 名古屋大学第二外科名誉教授 中尾昭公 先生をお招き行われました。



Meet the Expert in Gifu
 ~Final announcement~
 日時：2017年2月3日(金) 18:45~20:30
 場所：岐阜大学医学部 1階「大会議室」
 岐阜市柳戸1番1 TEL:058-230-6000(代表)

総合司会：岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野 教授 吉田 和弘 先生
 Session 1 一般講演(18:45~19:30)
「 大腸癌術後補助化学療法の変遷 」
 岐阜大学大学院医学系研究科 がん先端医療開発学講座 准教授 松橋 延壽 先生
 Session 2 特別講演(19:30~20:30)
「 門脈カテーテルバイパス法と Mesenteric Approachによる Isolated PD 」
 JR東海 名古屋セントラル病院 院長 名古屋大学 第二外科 名誉教授 中尾 昭公 先生

※当日はお弁当をご用意しております。
 主催：中外製薬株式会社
 後援：岐阜大学医学部附属病院 がんセンター 岐阜の若手外科医を育てる会

Session 1一般講演において岐阜大学腫瘍外科 がん先端医療開発学講座松橋延壽が【大腸癌術後補助化学療法の変遷】で講演しました。1990年代から大腸癌補助化学療法がどのような背景ではじまり、現在までのエビデンスとして構築されてきたのかを世界の立場および日本の立場からわかりやすく講演しました。

Session 2 において岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野 教授吉田和弘先生が総合司会をされ、【門脈カテーテルバイパス法とMesenteric ApproachによるIsolated PD】というテーマで特別講演をして頂きました。



総合司会 吉田 和弘 教授



JR東海 名古屋セントラル病院 院長 名古屋大学 第二外科 名誉教授 中尾 昭公 先生

中尾昭公先生の膵臓癌における熱意を強く感じました。特にいかに門脈再建を安全に行うためにアンスロンチューブを開発され、その手技を認めてもらうためにたいへんの御苦労があったことを講演して頂きました。そして手術に対する気概、研究に対する姿勢含めて世界のトップリーダーになるためには大変な努力が必要であることを若手外科医を筆頭に多くのベテラン医師にまでも身に染みて感じた講演でした。



懇親会においても岐阜とのご縁など多くのお話を頂き、肝胆膵外科医をはじめ参加全員が明日から医療への更なるエネルギーを頂いた会となりました。
 参加者：中尾名誉教授、吉田和弘教授、山口和也先生、高橋孝夫先生、今井寿先生、松井聡先生、松橋延壽

文責：平成8年卒 松橋延壽

📍 **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

📍 **教室日記**

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [岐阜腫瘍外科ミーティング](#)

岐阜腫瘍外科ミーティング

投稿日：2017年2月 2日 (木)

岐阜腫瘍外科ミーティング

日時 平成29年2月2日 (木) 19:00~20:30 (18:30開場)
場所 岐阜都ホテル 2階「輝」
 住所：岐阜市長良福光2695-2 TEL:058-295-3100

基調講演 (19:00~19:45)
 座長：岐阜大学大学院 腫瘍外科学分野 教授 吉田 和弘 先生
「大腸癌術後補助化学療法の新潮流」
 演者：九州大学大学院 消化器・総合外科 診療准教授 沖 英次 先生

ディスカッション (19:45~20:30)
 総合司会：岐阜大学大学院 腫瘍外科学分野 講師 高橋 孝夫 先生

症例提示
 ①「エルプラットベースの術後補助化学療法を施行した症例の検討」
 岐阜県総合医療センター 大腸外科部長 田中 千弘 先生
 ②「術前化学放射線療法を施行した局所進行直腸癌の1例」
 岐阜市民病院 消化器外科部長 松井 康司 先生
 ③「結腸癌腹膜播種再発切除後にoxaliplatin reintroductionした1例」
 岐阜大学大学院がん先端医療開発学講座 准教授 松橋 延壽 先生
 ※それぞれの症例に対してフロアでのディスカッションを予定しています。

※お弁当をご用意しております
 主催：株式会社ヤクルト本社

岐阜腫瘍外科ミーティングが岐阜の若手外科医を育てる会後援で九州大学 消化器・総合外科 沖英次診療准教授をお招きし行われました。岐阜大学腫瘍外科関連施設から現在大腸疾患を診療している総数50名を超える先生が参加しました。



座長 吉田 和弘 教授



九州大学 消化器・総合外科 診療准教授 沖 英次 先生

基調講演は岐阜大学大学院 腫瘍外科学分野 吉田和弘教授が司会進行され、大腸癌術後補助化学療法の新潮流 というタイトルで九州大学 消化器・総合外科 沖英次診療准教授に講演頂きました。診療および研究の分野など多岐にわたる多くの最新情報を講演して頂き、関連施設熟練医師および若手医師など多くの大腸診療に携わる先生が刺激を得ました。



症例提示 座長 高橋 孝夫 先生

症例提示は 岐阜大学大学院 腫瘍外科学分野 講師 高橋 孝夫 先生が司会進行を行い、岐阜県総合医療センター 大腸外科部長 田中 千弘 先生、岐阜市民病院消化器外科部長 松井 康司 先生、岐阜大学大学院がん先端医療開発学講座 准教授 松橋 延壽 先生がそれぞれ各施設の症例提示を行い、関連施設の先生を含めて治療方針のディスカッションを行いました。

また懇親会では岐阜大学大学院 腫瘍外科の高野仁先生、松本圭太先生、水谷千佳先生も参加し沖英次診療准教授から多くの刺激あるお話を頂き、これから日本および世界の外科学のリーダーとなる先生の姿勢を学ぶ機会であったと思います。



大変充実した刺激に満ちた岐阜腫瘍外科ミーティングでした。

文責：平成8年卒 松橋延壽



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属 腫瘍
- 岐阜大学医学部附属 腫瘍がんセンター
- 岐阜大学医学部附属 腫瘍外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 胃がん公開講座 「もっと知りたい胃がんのこと 2017 in 岐阜」

胃がん公開講座 「もっと知りたい胃がんのこと 2017 in 岐阜」

投稿日：2017年1月28日（土）

胃がん公開講座 「もっと知りたい胃がんのこと 2017 in 岐阜」がNPO法人がんネットワークジャパン主催で行われました。当科より吉田和弘教授、田中善宏先生、佐治重豊名誉教授が講演をされました。

日時 平成29年1月28日

場所 じゅうろくプラザホール



佐治名誉教授から開会挨拶



総合司会はフリーアナウンサーの中井美穂さんでした。司会進行いただき、のちのQ&Aの際にも活発な議論を促していただきました。

基調講演



こうすれば治る胃がん治療の最前線
吉田和弘教授

まず胃がんについて、どんな病気なのか、そのリスクについてなど疫学のお話をされ、罹患された場合のステージごとによる具体的な治療方針についての説明、また胃がんの岐阜県の検診受診割合が少ないこと、定期的に検診を受けて、早期発見・早期治療につなげることが重要といったお話をされました。当科で積極的に行っている腹腔鏡を用いた低侵襲外科手術について、その良好な成績や、実際の手術についても動画を用いてわかりやすくお話されました。また、切除不能な状態で発見された胃がんも抗がん剤治療と手術を組み合わせる長期生存が得られている例について実際の画像検査結果を示しながら説明がありました。



治療効果を最大限引き出すために
田中善宏 先生

現在、進行がん症例では術前に化学療法を行って、腫瘍サイズや転移巣を小さくさせて手術を行うことによって根治性を高めるケースも多くなります。抗がん剤治療は、副作用が強いといったイメージがあるかと思いますが、当科ではその支持療法として栄養療法に力を入れて行っています。食事の摂り方や内容、また栄養補助剤の使い方、その意義についてアニメーションを用いてわかりやすく説明されました。こういった支持療法もあり、副作用を少なくおさえて、抗がん剤治療の恩恵を受け、良好な成績、QOLを得ることができております。

また、他にも当院消化器内科科木寛司先生からピロリ菌感染について、早期胃がんに対する内視鏡的治療などについて講演がありました。

胃がん経験者である高橋和奈さんから実際に胃がんを経験されてのお話がありました。



Q&A トークセッションとして、会場にお越しいただいた皆様からの質問にその場でお答えしてまいりました。



胃がんの罹患率は年12万人を超え、男女合わせると全てのがんの中で最も多いがんです。近年の医療の進歩により、胃がん領域でも新たな知見が出ています。この公開講座では、胃がんに関する正しい知識と、最新の情報を専門家から皆さんにお伝えし、早期発見・早期治療につなげるため、また実際の胃がんの検査や治療について知って頂く目的で行われました。

当日ご参加頂いた市民の皆様、大変ありがとうございました。





ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



同門会発行
辛夷



胃がんとは
MOVIE



外来化学療法
って何？



術後GISTの
化学療法



ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~



ASCO2015
~special session :
Global Oncology Symposium~

- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [平成29年 新年挨拶](#)

平成29年 新年挨拶

投稿日：2017年1月 4日 (水)

平成29年1月4日水曜日

昼から新年のあいさつと昼食をみんなでとりました。



吉田教授より新年のご挨拶

今年も今までと同じく、患者様第一で、最新・最善の医療の提供のため努力し、レベルの高い癌の外科治療の提供と新たな標準治療確立のための先進的治療開発を重要視し、一層努力し取り組んで行くようにお話をいただきました。



外来診療・病棟診療もある中、先生方、秘書さんたちも含め多くの方が参加しました。

本年もよろしく願い申し上げます。

[▲ページの先頭へ戻る](#)